

にいだこども園 年長園児

サキホコレ 刈り取り挑戦



田んぼで稲刈りに挑戦する園児

秋田市仁井田本町のにいだこども園(伊藤美鈴園長)の年長園児62人が、同市仁井田の田んぼでサキホコレの稲刈りを体験し、収穫の喜びを味わった。

同園の前理事長・相場清和さん(78)が所有する田んぼで9月24日に実施。園児は使い慣れて

いる工作用のはさみで稲穂を切り取り、「たくさん取れた」とうれしそうな声が聞かれた。

コンバインを使った稲刈り作業も見学、瞬く間に刈り取られる様子に驚いていた。収穫したコメはきょう7日に開く「収穫祭」で味わう。

同園は収穫する喜びを体験し、農家に感謝する気持ちを育んでもらおうと、稲刈り体験と収穫祭を2002年から実施している。小野寺叶愛ちゃん(6)は「稲穂をいっぱい切り取れて楽しかった」と話した。(遠山龍生) (令和7年10月7日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)

来月、町民文化祭で販売 鎌を使って稲刈り



稲刈りを体験する児童(峰浜小提供)

八峰町の峰浜小学校と八森小学校の児童が2日、同町峰浜小手萩の田んぼで稲刈りを行った。収穫したコメは給食に使われるほか、来月9日に町文化交流センター・ファガスで開かれる町民文化祭で販売する。

両小は総合的な学習の一環で稲作を体験。JA秋田やまもと青年部八峰支部の協力を受け、6月に田植えを実施した。稲刈りでは両校の5年生15人が鎌を持って田んぼに入り、ザクザクと音を立てながら稲を刈り取った。

峰浜小の木村日々貴さんは「JAの皆さんのおかげでみんなと協力して田植えと稲刈りができた。収穫したコメ町民文化祭でたくさん売りたい」と話した。(加藤龍太郎)

(令和7年10月7日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)